

(3) 春季の実地検証の内容

4 国際交流センター、釧路市役所、北大通、JR釧路駅までの経路の現況と課題

① 点字ブロック

- ・ 点字ブロックが交差点部分のみ設置してある。点ではなく線での誘導が望ましいのではないか
- ・ 点字ブロックが欠けているところが多い
- ・ 点字ブロックの大きさはその場所によってまちまちであり、統一したほうが良いのではないか



▲ 市役所から北大通へ行く特定経路 E の交差点 タイルが割れて波打っている

② 歩道

- ・ 釧路市朝市前の歩道は、車イス介護者がいれば通行できるが、一人では傾斜角度がきつく通行不可能
- ・ 勾配がきつく、段差の有る歩道は車イスではのぼれない。勾配を緩やかにし、段差の解消が必要
- ・ 信号機前の歩道の勾配、きついところが何箇所もある
- ・ 店側に、段差解消のスロープ設置を検討したほうが良いのではないか
- ・ 店と歩道の段差をなくすことが望まれる
- ・ 北大通の 4.20m の歩道は、地先の土台高に合わせたバリアフリー構造で対応するしかないのではないか
- ・ 歩道・車道の段差がきつく車椅子では大変
- ・ 歩道のブロックがぬけてなくなっている。歩道のタイルの破損が目立つ



▲ 横断歩道から歩道へ車イスで上がる

③ 歩道幅員

- ・ 歩道幅員を確保するため車道を一方通行にするなど、改善するべき
- ・ 黒金町 7 丁目～北大通間までの歩道幅が狭い
- ・ 歩道が狭く、改善が難しいところは、植樹帯を車椅子でも走行できるグレーチング等を設置し、歩道の有効幅員をとった方がよいのではないか
- ・ 電柱や標識が歩道の幅員を狭めている
- ・ 市役所～北大通間、歩道が狭い



▲ 北大通店舗前、歩道にダンボールが置かれ、幅員を狭めている

④ マンホール

- ・ 汚水柵の蓋が一定していない。穴がまちまちで3~9cmほど
- ・ 横断歩道に柵が多く見られた
- ・ マンホール周辺等は沈下による段差が大きい
- ・ 横断歩道の雨水柵。もう少しずらせないのか

⑤ 交差点・横断歩道

- ・ みずほ銀行の交差点の横断歩道が真っ直ぐつながっていない
- ・ 駅前スクランブル交差点、車椅子で横断するためには時間が短すぎる
- ・ 交流センターを出た交差点に点字ブロックがない
- ・ 市役所と興発ビルの横断歩道が回り道。両サイドの信号を連動させて、スクランブル交差点に出来ないか

⑥ 建物・商業施設

- ・ 北大通にある商業施設で、車イスで入れるところは3店ぐらいしかなかった
- ・ 段差があっても、お店の人や周りの人が手伝ってあげれば入れるのではないか

⑦ 標識・サイン

- ・ 市役所庁舎の車イス通路の表示を通路入口にも設置し、わかりやすくする必要があるのでないか
- ・ 交差点の標識を植樹柵のはじめに立てるべきではないか、歩道の幅員を狭くしている
- ・ JR 釧路駅前広場に、観光案内所への誘導サインや MOO などへの誘導サインがなく、案内不足
- ・ 観光施設を表すサインが何基かあるが、わかりづらいのではないか

⑧ 休憩スペース

- ・ 高齢社会を向かえるにあたり、歩道上に休憩できるベンチが必要
- ・ 北大通り全体、休憩所が少ない
- ・ バス停にベンチの設置が望まれる
- ・ 設置してあるバス停のベンチは使用しにくい。材料やデザイン、位置のせいで。石だとメンテナンスはしやすいだろうが、冷たいため、座りたい気持ちにならない



▲ 駅前交差点



▲ 駅前交差点を車イスで渡る



▲ 階段のある北大通店舗入口



▲ 駅前広場に設置された石のベンチ

⑨ 公衆電話

- ・ 公衆電話の出入口に段差があり、車イスで使えない。車イスでも使える公衆電話までの案内図がドアにあると親切



▲ 段差があり車イス対応ではない
公衆電話

⑩ 心のバリアフリー

- ・ 心のやさしさからバリアフリーの環境づくりを。
- ・ 車椅子の人に対して手助け。みんなで助けあうことが必要
- ・ 車椅子の操作方法を知らない。操作方法を身につける訓練や教育が必要
- ・ バリアフリーにしないことによって、助け合いの心が生まれる
- ・ 運転している人の心のバリアフリー

⑪ その他

- ・ 景観等商店街との協力も必要
- ・ 造った後の維持費の確保はどうするのか
- ・ 維持管理を充分にしてほしい。素材も考えて。



▲ バス停に座り、バスを待つ市民
(休憩施設の必要性)

4 国際交流センター、釧路市役所、北大通、JR釧路駅までの経路の現況と課題

S = 1 : 5,000

